



Le Journal de l' Etoile.

中 3 研修旅行代替プログラム 後編

11月10日(3日目)

(3日目は墨田区・台東区戦争史跡めぐりをしました。)

3日目のイベントは浅草寺から9時45分に班ごとにスタートしました。史跡巡りを中心に、スカイツリーなどの名所を班員と歩き回りました。普段はあまり目を向けない史跡に目を向けて、その史跡に込められた思いを感じ取ることができるいい機会になりました。下町の風情を愉しみながら笑いあり涙ありの下町散歩は15時に無事全班終え、3日目は幕を閉じました。

11月11日(4日目)

(4日目は原爆の図鑑賞・小江戸川越巡りをしました。)

4日目はまず、丸木美術館にて丸木夫妻の描いた原爆の図を鑑賞しました。丸木夫妻が実際目にした光景と被ばく体験をした方達の証言をもとに描いた絵には、写真以上のインパクトと当時の人の息づかいを感じました。その他にも丸木夫妻はアウシュビッツ強制収容所などの世界各地で理不尽に命を奪われた人達の絵を数点の描き、私たちや私たち以降の世代に遺してくれました。この思いを絵だけでなく様々な手段で伝えていく義務があると再確認しました。

そして川越班別行動では時の鐘や菓子屋横丁などの小江戸の空気を味わいながら班員との普段とは違う特別な時間を過ごすことができました。

11月12日(5日目)

(5日目は館山大房岬戦争遺跡見学をしました。)

実際に当時の兵隊さんのいた場所は自然に囲まれていました。のどかな自然の中にあった軍事施設には今は虫やコウモリなどの生き物が住み着き、平和になったことを感じさせました。昔軍艦が沢山存在した遺跡の近くの浜辺から見える海には今は漁船がちょこちょこあって時の流れを感じました。

戦争は何をもたらすのか、平和とは何なのか。そのことをまなび考えた5日目でした。行く予定だった広島でまなぶ戦争と今回の関東近郊でまなぶ戦争は少し違うかもしれないです。しかし、戦争についてまなんだことで、平穏な1日1日を大切に過ごし、昔のものや自然が壊されずあるがままの姿にしておくことが平和への第一歩だと教えてもらったような気がしました。

例年中3はこの時期に広島で平和学習を行っていますが、
今年は学校・関東近郊で平和学習を行いました。



(中 3K.S)